

**[成果情報名]**大玉で、食味が良く栽培性に優れるモモ新品種候補「モモ山梨 13 号」の開発

**[要約]**「モモ山梨 13 号」は、「白鳳」よりやや早く収穫始めとなる早生品種である。大玉で糖度が高く、食味がよい。また、花粉があり、着色は良好で、栽培性に優れる。

**[担当]**果樹試・育種部・落葉果樹育種科・新谷勝広

**[分類]**技術・普及

---

#### **[課題の要請元]**

果樹食品流通課、峡東農務事務所、中北農務事務所、部門別農業代表者、果樹園芸会、JA全農やまなし

#### **[背景・ねらい]**

山梨県内では、「白鳳」より前に成熟する早生品種は、収穫期が梅雨期と重なることが多いため、食味低下や着色不良が問題となる。そこで、梅雨期においても食味良好で栽培性に優れる本県のオリジナル品種の開発を図る。

#### **[成果の内容・特徴]**

1. 「モモ山梨 13 号」は、平成 12 年に大玉で高品質な「浅間白桃」と早生で着色と食味が良好な「暁星」を交雑して選抜した品種である。
2. 成熟期は果樹試験場(標高 440m)において7月中下旬で、「白鳳」よりやや早く収穫始めとなる早生品種である(表1)。
3. 果形は扁円～円で、ややいびつになる(図1,2)。果実重は340g程度で大玉になる(表2)。糖度は15Brix程度と非常に高く、酸は低く、食味は良好である。
4. 花粉があり、着色も容易である(図1)。果肉内の紅色素はやや多い(図2)。

#### **[成果の活用上の留意点]**

1. 現在のところ有袋栽培を前提とする。無袋栽培については今後検討が必要である。
2. 収穫期後半に果肉障害が発生することがあるため、硬度を重視した適期収穫に努める。
3. 収穫後の日持ち性は早生品種としては良い。

#### **[期待される効果]**

1. 「白鳳」よりやや早く収穫できる優良な早生品種として県内への普及が期待できる。

[具体的データ]

表1 「モモ山梨13号」の生育特性\*(2009～2011年の平均値)

品種名	調査樹齡 (年)	花粉	果形	核割	裂果	生理 落果	満開期	収穫始め	成熟日数 (日)
モモ山梨13号	9～11	有	扁円～円	少	無	極少	4月11日	7月17日	97
白鳳	11～13	有	円	少	無	極少	4月12日	7月19日	99

\* 果樹試験場内圃場(山梨市江曾原、標高440m)、有袋栽培(二重袋)  
「モモ山梨13号」: 白根樹、「白鳳」: おはつもも台

表2 「モモ山梨13号」の果実品質(2009～2011年の平均値)

品種名	果実重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (Brix)	酸度 (pH)	果肉内 紅色素
モモ山梨13号	345.8	2.0	14.9	5.0	やや多
白鳳	320.9	2.1	13.7	4.7	少



図1 「モモ山梨13号」の果実外観



図2 「モモ山梨13号」の果実内部

[その他]

研究課題名: モモ新品種の育成

予算区分: 県単

研究期間: 1988年度～

研究担当者: 新谷勝広、竹腰 優、雨宮秀仁、佐藤明子、三宅正則、猪股雅人、手塚誉裕、  
富田 晃、櫻井健雄